



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,426	△12.3	422	9.3	411	5.5	203	17.2
24年3月期第3四半期	8,472	2.7	386	△2.8	389	2.4	173	23.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 201百万円 (20.3%) 24年3月期第3四半期 167百万円 (25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	36.32	—
24年3月期第3四半期	30.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,676	3,226	42.0	576.92
24年3月期	7,337	3,126	42.5	558.33

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,225百万円 24年3月期 3,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	2.1	460	3.0	450	0.8	180	10.6	32.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,591,630 株	24年3月期	5,591,630 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	497 株	24年3月期	458 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,589,671 株	24年3月期3Q	5,591,238 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えがあるものの、長期化する円高やデフレにより景気が低迷し、先行き不透明感が増す状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、雇用環境の改善の遅れなどから消費者の節約志向が続いており、業態を超えた競争が激化しております。

このような状況のもと、当社グループは、さらなるブランド価値向上を目指し、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

#### <売上高>

食品事業におけるドレッシング商品の売上が好調に推移いたしましたが、受託事業の一部解約があったことなどから、74億26百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

#### <利益項目>

売上総利益については、食品事業が寄与したことなどから、42億80百万円（前年同期比3.4%増）となりました。また、アンテナショップの新設やテレビコマーシャルの放映など積極的な情報発信を行ったものの、他の経費の削減を図ったことなどから、営業利益は4億22百万円（前年同期比9.3%増）、経常利益は4億11百万円（前年同期比5.5%増）、四半期純利益は2億3百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①食品事業

テレビコマーシャルに連動した「野菜嫌いをなおそう」キャンペーンを実施したことから、主力ドレッシング商品（オレンジキャップ、グリーン）が堅調に推移いたしました。また、健康志向の高まりからオリーブオイルを使用した新シリーズのドレッシングが伸長するとともに、内食化及び個食化の傾向からパスタソースの売上も好調に推移いたしました。利益面では、原材料価格の上昇があったものの、増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は46億13百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は15億10百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

#### ②通信販売事業

プレミアム商品であるピエトロファーマーズシリーズに、ドリア、ピザ、ラザニアなどの新商品を投入し品揃えの充実を図るとともに、さらなるサービス向上に資するため、お得意様との交流会を実施いたしました。一方、オンラインショッピングの利用促進を図るため、ネット販促を強化いたしました。しかしながら、健康サポート関連商品の競争激化や仕入商品の原価率アップなどにより、前年同期と比べ、売上、利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は5億95百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

#### ③レストラン事業

季節ごとのフェアとして、「冷製パスタフェア」や「カルボナーラフェア」などを実施するとともに、新シリーズとして「季節のイタリー麺」をご提供してまいりました。また、平成24年11月には、グランドメニューを刷新し、25種類の新メニューを加えました。さらに、特典付き会員サービス「ピエトロクラブ」の販促などをおして、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は、既存店（直営）は前年売上を維持したものの5店舗（直営）の閉店の影響などにより、21億4百万円（前年同期比8.6%減）となりました。一方、販管費の削減など収益改善を図ったことから、セグメント利益は22百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、本社ビルのテナント入居により、売上高は1億13百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加し、76億76百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億23百万円、売掛金が74百万円、有形固定資産（純額）が34百万円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加し、44億50百万円となりました。これは未払金が1億58百万円、未払法人税等が92百万円、役員退職慰労引当金が59百万円それぞれ増加する一方、買掛金が71百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億円増加し、32億26百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益2億3百万円の計上によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,993千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	956,312	1,179,733
預け金	75,710	56,107
売掛金	1,266,434	1,341,019
商品及び製品	72,909	79,505
仕掛品	4,622	3,332
原材料及び貯蔵品	117,781	131,871
その他	220,885	183,887
貸倒引当金	△6,994	△701
流動資産合計	2,707,663	2,974,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,621,622	1,579,563
土地	1,965,002	2,006,202
その他(純額)	167,144	202,641
有形固定資産合計	3,753,769	3,788,407
無形固定資産	14,194	18,098
投資その他の資産		
敷金及び保証金	470,858	461,534
その他	407,241	456,292
貸倒引当金	△16,119	△22,235
投資その他の資産合計	861,979	895,592
固定資産合計	4,629,944	4,702,098
資産合計	7,337,608	7,676,854
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	666,016	594,748
短期借入金	1,400,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	218,490	335,080
未払金	426,911	585,634
未払法人税等	34,732	126,945
賞与引当金	50,553	26,137
資産除去債務	—	2,140
その他	216,082	240,365
流動負債合計	3,012,786	3,261,052
固定負債		
長期借入金	491,380	417,055
退職給付引当金	66,947	63,966
役員退職慰労引当金	429,760	488,890
資産除去債務	48,071	45,289
その他	162,377	174,128
固定負債合計	1,198,537	1,189,329
負債合計	4,211,323	4,450,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,133,358	2,235,393
自己株式	△416	△449
株主資本合計	3,124,264	3,226,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△362	1,400
為替換算調整勘定	△2,172	△2,028
その他の包括利益累計額合計	△2,534	△628
少数株主持分	4,554	834
純資産合計	3,126,284	3,226,472
負債純資産合計	7,337,608	7,676,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	8,472,593	7,426,938
売上原価	4,332,360	3,146,889
売上総利益	4,140,232	4,280,049
販売費及び一般管理費	3,753,914	3,857,785
営業利益	386,318	422,263
営業外収益		
受取利息	427	108
受取配当金	617	810
為替差益	—	2,328
貸倒引当金戻入額	22,259	275
その他	5,183	1,810
営業外収益合計	28,488	5,332
営業外費用		
支払利息	15,151	11,712
シンジケートローン手数料	4,546	4,614
その他	5,527	127
営業外費用合計	25,226	16,454
経常利益	389,580	411,141
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,699
特別利益合計	—	1,699
特別損失		
固定資産除却損	3,543	1,308
減損損失	3,054	1,727
投資有価証券評価損	—	6,337
特別損失合計	6,597	9,373
税金等調整前四半期純利益	382,982	403,467
法人税、住民税及び事業税	33,478	129,647
法人税等調整額	178,522	74,600
法人税等合計	212,001	204,247
少数株主損益調整前四半期純利益	170,980	199,219
少数株主損失(△)	△2,179	△3,781
四半期純利益	173,160	203,001

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170,980	199,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,253	1,762
為替換算調整勘定	△1,467	205
その他の包括利益合計	△3,721	1,967
四半期包括利益	167,258	201,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,878	204,907
少数株主に係る四半期包括利益	△2,620	△3,720

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,143,399	633,627	2,303,582	1,283,655	108,327	8,472,593	—	8,472,593
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	4,143,399	633,627	2,303,582	1,283,655	109,789	8,474,055	△1,462	8,472,593
セグメント利益 又は損失(△)	1,408,467	34,841	△9,069	16,413	47,201	1,497,854	△1,111,536	386,318

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,111,536千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,613,349	595,261	2,104,360	113,967	7,426,938	—	7,426,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	4,613,349	595,261	2,104,360	115,429	7,428,400	△1,462	7,426,938
セグメント利益	1,510,507	14,644	22,585	55,963	1,603,701	△1,181,437	422,263

(注)1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,181,437千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ株式会社との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。